

鉄道を守る雪の研究



写真提供：北海道旅客鉄道株式会社

2012年

12月15日 (土)

14:30～16:30

(1) 現在の除雪車両

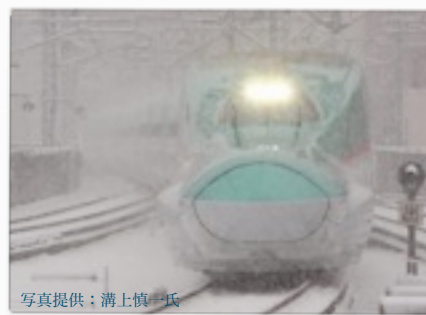
講師：岡本光隆氏（日本除雪機製作所）
中村哲也氏（同上）

高性能排雪モーターカーなどいろいろな
除排雪車両についてお話しします。

(2) 鉄道と雪 -新幹線の雪対策-

講師：鎌田慈氏（鉄道総合技術研究所）
鉄道における雪害の種類と対策について
お話しします。

- ◇会場 小樽市総合博物館本館研修室
- ◇対象 どなたでも
- ◇料金 無料



写真提供：溝上慎一氏

講演会関連行事（無料）

12月15日（土）13:30～14:10

工作教室「雪結晶が見える万華鏡をつくろう！」

雪結晶のような模様が見える万華鏡を工作します。

※定員：24名（先着順）、参加申込：小樽市総合博物館まで（12月1日から受付開始）

12月12日（水）から12月24日（月・振休）9:30～17:00（火曜日は休館）

パネル展「雪と戦う鉄道車両」

雪景色の中を走る鉄道車両や雪をかき分ける除雪車両について紹介します。

企画展示「鉄道おもちゃで見る北の鉄道」

鉄道おもちゃで北国の鉄道風景を再現し、雪との関わりなどを紹介します。

開催場所、問合せ先：小樽市総合博物館本館（小樽市手宮1-3-6）

電話：0134-33-2523、FAX：0134-33-2678

◇共催：小樽市総合博物館 ◇後援：小樽市、NPO法人北海道鉄道文化保存会 ◇協力：北海道旅客鉄道株式会社

日本雪氷学会北海道支部地域講演会 (無料)

鉄道を守る雪の研究

日時 12月15日(土) 午後2時30分から午後4時30分

場所 小樽市総合博物館本館 2階研修室

内容 (1) 現在の除雪車両

講師：岡本光隆氏、中村哲也氏（日本除雪機製作所）

当社は、札幌市手稲区の工場を拠点に、除雪機械・軌道モーターカー等の開発・設計・製造・販売までを一貫して行う自己完結型の製造メーカーです。冬期軌道用除雪車両にはラッセル・ロータリ・高性能排雪モーターカーなどがあり、今後はエコなハイブリッドモーターカーも技術的に可能となってきました。講演では、多種多様な除雪車両についてお話しします。

(2) 鉄道と雪 -新幹線の雪対策-

講師：鎌田慈氏（鉄道総合技術研究所）

JRの線路総延長約2万キロメートルのうち、主に日本海側地域に位置する8千キロメートル（線路総延長の約40%）が「豪雪地帯」に敷設されており、冬季間には様々な雪害を被っている。また、北陸新幹線、北海道新幹線など、豪雪地帯での開業が予定されている。講演では、鉄道における雪害の種類と対策についてお話しします。

対象 どなたでも

申込 不要。直接お越しください。

日本雪氷学会北海道支部地域講演会関連行事 (無料)

(1) パネル展「雪と戦う鉄道車両」

日時 12月12日(水) から12月24日(月・振) 9:30～17:00(火曜日は休館)

場所 小樽市総合博物館本館 エントランスホール

内容 雪景色の中を走る鉄道車両や雪をかき分ける除雪車両について紹介します。

対象 どなたでも

(2) 企画展示「鉄道おもちゃで見る北の鉄道」

日時 12月12日(水) から12月24日(月・振)

9:30～17:00(火曜日は休館)

土・日曜日、祝日のみ1時間おきに車両を動かします。

場所 小樽市総合博物館本館 エントランスホール

内容 鉄道おもちゃで北国の鉄道風景を再現し、雪との関わりなどを紹介します。

対象 どなたでも



(3) 工作教室「雪結晶が見える万華鏡をつくろう！」

日時 12月15日(土) 午後1時30分から午後2時10分

場所 小樽市総合博物館本館 2階実験室

内容 雪結晶のような模様が見える万華鏡を工作します。

対象 小学生以上（小学3年生以下は保護者同伴で）

定員 24名（先着順）

申込 小樽市総合博物館本館まで電話、FAX、電子メールにて
（受付開始12月1日から）

電話: 0134-33-2523、FAX: 0134-33-2678

E-mail: museum@city.otaru.lg.jp



日本雪氷学会は、雪と氷およびその周辺環境に関する研究をすすめ、学術の振興に寄与することを目的として設立された公益社団法人です。